

競技規則

- 出場全チームを2グループに分け予選リーグ戦を行い、各グループ上位2チームが決勝トーナメントに進出する。
- 予選リーグにおける順位の設定方法は、勝利3点、引分1点・敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
 - ①全試合の得失点差（総得点－総失点）
 - ②全試合の総得点
 - ③当該チーム同士の対戦成績（勝敗）
 - ④①～③の全項目において同一の場合は、当該チーム同士によるPK戦で決定する。
- 予選リーグ試合時間は10分ハーフ（インターバル3分）とし、規定の競技時間内に勝敗が決定しない場合は引き分けとする。
- 決勝トーナメントは、15分ハーフ（インターバル5分）とし、延長戦を行わずPK方式により次回戦への進出チームを決定する。
- 8人制サッカールール（財団法人日本サッカー協会2012年3月27日発行）を準用する。但し、以下の項目については本大会用として大会規則を定める。
 - （1）競技者の数：8人（うち1人はGK）
 - （2）交代できる数：選手エントリー16名以内のうちから先発8人を除いた8名以内。
1度交代で退いた選手は、交代により何度でも出場が可能とする。
 - （3）交代の手続：①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールド外に出る。
②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
③交代は、ボールがアウトオブプレー中に行うことができる。
④交代について、主審、補助審判の承認を得る。
 - （4）ベンチに入ることができる人数：18名以内（指導者2名、選手16名）
 - （5）審判員：主審1名、補助審1名
 - （6）ファウルと不正行為
 - ①警告・退場：通常の競技規則に準ずる。
 - ②退場：当該チームは交代要員から競技者を補充することができる。
 - ③大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
 - ④本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の主催者で決定する。
 - （7）競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許可される指導者の数：2名以内
 - （8）ボール：4号球
 - （9）コーナーキック：ボールがインプレーになるまで相手競技者は7メートル以上離れる。